

JA たじまが令和 5 年度特別優良農協に選出！

環境負荷の少ない農法による「コウノトリ育むお米」や、
兵庫県特産「但馬牛」の生産振興が高く評価

JA 全中（一般社団法人 全国農業協同組合中央会）はこのほど、
全国 537JA（令和 5 年 4 月 1 日現在）の中から、JA たじまと JA 愛知
西を最上位の賞となる特別表彰農協に選びました。

それに伴い、3 月 8 日に東京都内で JA 全中が開いた臨時総会で、
JA たじまの太田垣哲男組合長が表彰を受けましたので、報告します。



特別表彰農協について

審査は、JA の組合員や役職員の共通の理念を表す「JA 綱領」に基づく取り組みが優秀で、成果に表れているかどうかを総合的に判断されました。

JA 綱領や、表彰に至った推薦書などご覧になりたい方は、下記にお問い合わせください。表彰式や活動に関する写真提供も行います。

コウノトリ育むお米について

コウノトリ育むお米は、農薬や化学肥料の使用を抑え、コウノトリやその餌となる生物に優しい農法で育てられたお米です。

2005 年から本格生産が始まり、それ以降 JA たじまや生産者、行政らが協力し、栽培面積や出荷量が増え、国内をはじめ海外にも販路を拡大してきました。

2007 年からは減農薬タイプが豊岡市の学校給食にも使用されており、現在は全量が無農薬タイプに切り替えようと、各関係機関が連携して取り組んでいます。



但馬牛の生産振興について

但馬牛は、全国の黒毛和牛のルーツとして知られ、但馬牛の子牛は「神戸ビーフ」や「特産松阪牛」など有名ブランド牛のもと牛としても有名です。

美方地域では、明治時代に全国に先駆けて、牛の血統情報を管理し登録する「牛籍簿」を配備しました。そのほか、但馬牛飼育と水稻栽培がお互いを支え合う循環型農業を取り入れたことなどが高く評価され、2023 年 7 月に、兵庫美方地域「人と牛が共生する美方地域の伝統的但馬牛飼育システム」が世界農業遺産に認定されました。



JA たじまは但馬地域を管内とする農業協同組合です。「たじまに生きるたじまを活かす」をスローガンに、農業発展と地域活性化に貢献するため多岐にわたる事業を展開しています。

この件の詳しい内容に関する報道関係各位からのお問い合わせ先

JA たじま 総務企画部 経営企画課 担当：黒田

TEL : 0796-22-7290